

週間漁海況情報—第8号

平成27年2月23日

内容は水産研究課ホームページ <http://www.pref.tokushima.jp/tafftsc/suisan/> で公開され、原則として毎週月曜日夜間に更新します。

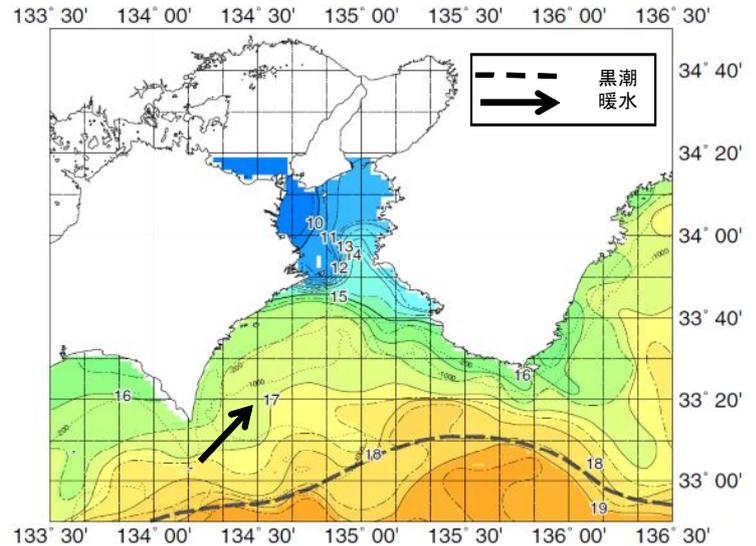
徳島県立農林水産総合技術支援センター
水産研究課

1. 海況の経過

右に千葉県、東京都、神奈川県、静岡県、三重県及び和歌山県が共同で作成した海況図（H27.2.23）を示した。

黒潮は、室戸岬沖及び潮岬沖で、やや離岸している。

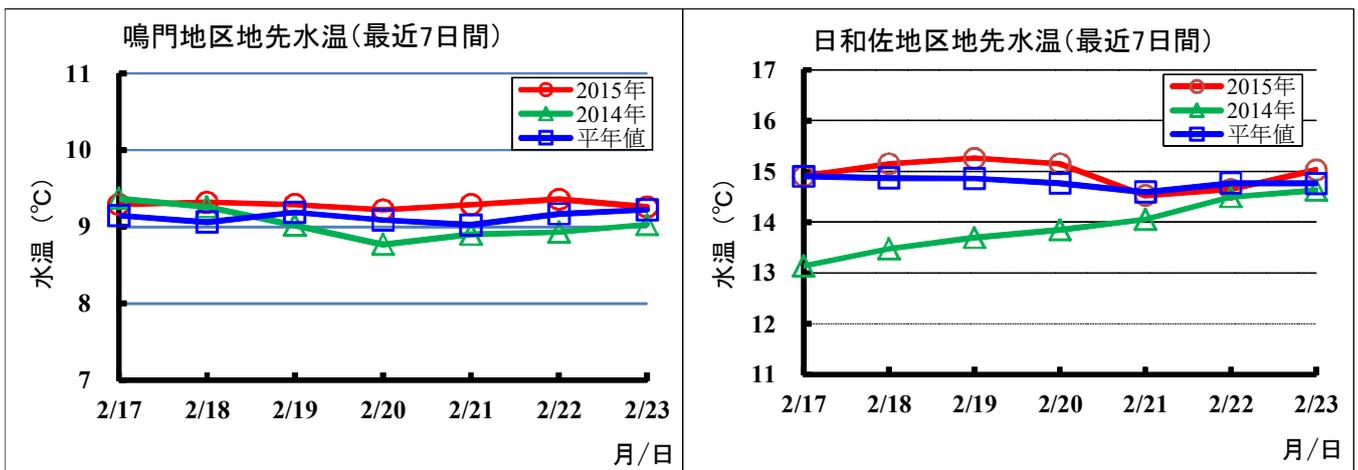
黒潮本流の表面水温は18～19℃台である。徳島沿岸の表面水温は、播磨灘で9℃台、紀伊水道では9～14℃台、海部沿岸は10～16℃台である。紀伊水道外域では室戸岬の東側から暖水の流入がある。



漁業調査船「とくしま」で2月16日に行った播磨灘海区の海洋観測では、表層～20m層は「やや低め」の8.3～8.5℃、30m層では「平年並み」の9.0℃であった。

播磨灘海区観測結果

観測日		水 温				塩 分			
		表層	10m	20m	30m	表層	10m	20m	30m
2/16	今年値	8.4	8.3	8.5	9.0	31.5	31.6	31.7	31.9
	平年偏差	-0.8	-0.7	-0.5	-0.1	-1.2	-1.2	-1.1	-0.9
	前年偏差	-1.9	-1.9	-1.7	-0.8	-0.6	-0.7	-0.6	-0.4



地先水温：最近7日間の地先水温は、鳴門地区は「平年並み」の9.2～9.4℃、日和佐地区は「平年並み」の14.5～15.3℃、牟岐地区は「平年並み」～「高め」の14.7～16.2℃で推移した。

水温偏差の目安

平年並：±0.49以下、やや高め（やや低め）：±0.50～1.49、高め（低め）：±1.50～2.49、かなり高め（かなり低め）：±2.50以上

* 平年値 鳴門地区：1981～2010年の平均値、日和佐地区：1982～2010年の平均値

2. 漁況の経過

延縄：海部沿岸で大主体にサバフグが0.5トン（1日1隻あたり28kg）、大主体にキダイが0.5トン（同12kg）水揚げされた。

建網：海部沿岸で中主体にヒラメが0.4トン（同6kg）水揚げされた。

小型定置網：海部沿岸で小主体にマアジが0.4トン（同13kg）、カタクチイワシが0.3トン（同15kg）、かます類が0.3トン（同10kg）、メジナが0.3トン（同14kg）水揚げされた。

大型定置網：海部沿岸でマメ・特大主体にマアジが0.6トン（同60kg）、ハマチが0.3トン（同30kg）、ブリが5.4トン（同545kg）、中・大主体にサワラが0.4トン（同44kg）水揚げされた。

漁業種類別集計表（抜粋） 2015年2月16日～2015年2月22日

県下6漁協から聞き取り

漁業種類	漁獲海域	魚種	延べ出漁隻数	漁獲量(kg)	1日1隻当たり漁獲量(kg)	銘柄・その他
延縄	海部沿岸	サバフグ	17	477	28	大主体
		キダイ	37	462	12	大主体
建網		ヒラメ	67	417	6	中主体
小型定置網		マアジ	28	370	13	小主体
		カタクチイワシ	23	340	15	
		かます類	30	291	10	
		メジナ	23	326	14	
大型定置網	マアジ	10	604	60	マメ・特大主体	
	ハマチ	10	304	30		
	ブリ	10	5,446	545		
	サワラ	10	436	44	中・大主体	

昨年同時期の主な漁獲傾向：昨年の2月17日～2月23日には、海部沿岸では、延縄でカワハギが0.4トン、大主体にキダイが0.2トン、建網でヒラメが0.2トン、ブダイが0.1トン、小型定置網でカタクチイワシが1.1トン、キビナゴが0.3トン、アオリイカが0.1トン水揚げされた。

週間予報：黒潮は、室戸岬沖、潮岬沖において「やや離岸」～「接岸」で推移する見込み。地先水温は、鳴門地先で「平年並み」の8～9℃台、日和佐地先で「平年並み」の14～15℃台で推移する見込み。